

官民連携による公共交通の活性化

“逆転の発想”による公共交通活性化と、地域特性に合わせた地域内交通の導入

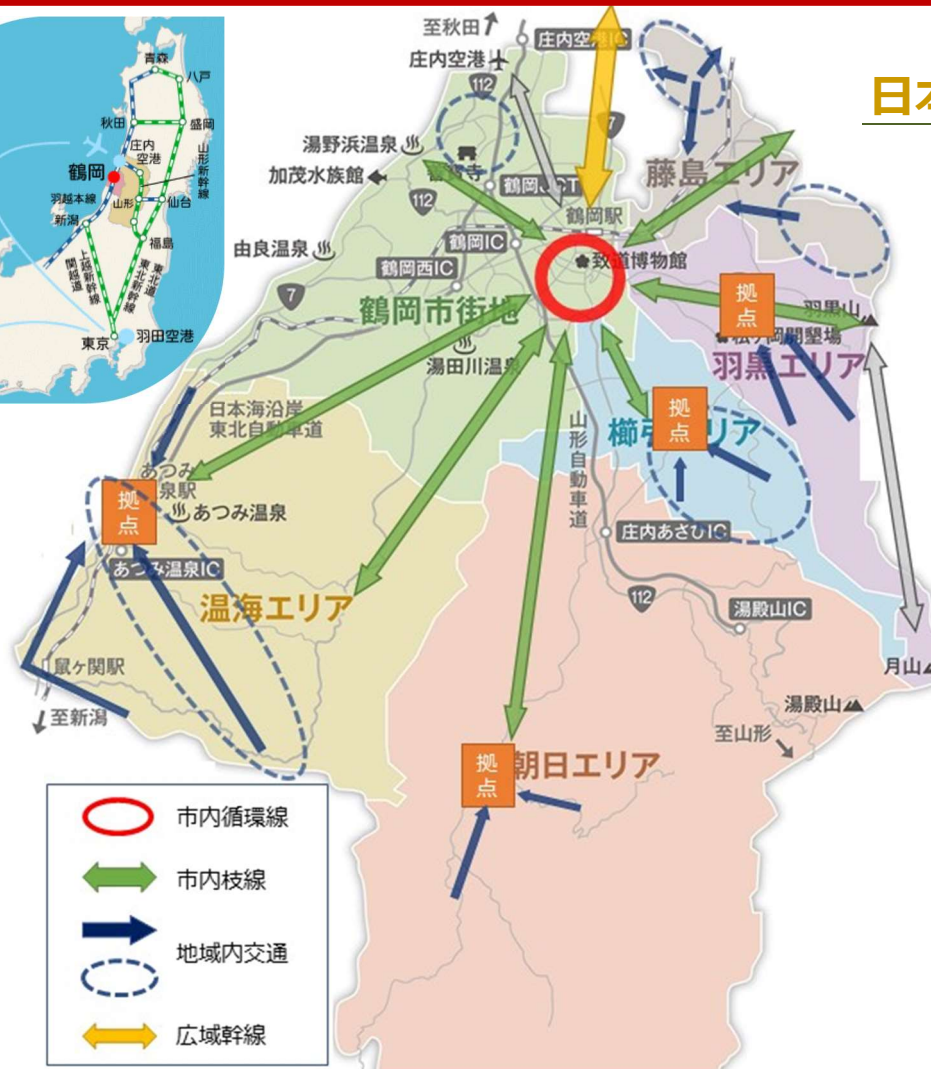


食文化創造都市
鶴岡
City of Gastronomy
TSURUOKA

鶴岡市の概況

山形県西部に位置
平成**17年10月1日**に市町村合併
人口 **122,347** 人 (R2国調)
面積 **1,311.53** km²
(全国 10位・東北1位)

- H26年 **ユネスコ食文化創造都市** 認定
- H28年 **「食と農の景勝地」** 認定
- H28年 **自然と信仰が息づく「生まれかわりの旅」**
(出羽三山) 日本遺産認定
- H29年 **「サムライゆかりのシルク」** 日本遺産認定
- R1年 **「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」**
日本遺産追加認定



公共交通の運行状況

- 空路 : 庄内空港 羽田**5**便
- 鉄道 : JR東日本 特急上下**14**本
- 高速バス : **8**路線 (運休中含む)
- 路線バス : **1**社 **22**路線
- 市営有償運送 : **5**路線
- タクシー : **12**事業者
- デマンド交通 : **4**地区
- 福祉有償運送 : **3**法人 **3**組合
- 観光バス等 : 観光バス、ハイヤー等

アクセス

- 空路 : 羽田から約 1 時間
- 鉄道 : 東京から約 4 時間
- 高速バス : 仙台から約 2 時間 30 分
東京から約 7 時間 30 分
大阪から約 1 時間 30 分

日本初のユネスコ食文化創造都市



出羽三山の精進料理



だだちや豆
温海かぶ
民田なす

出羽三山：自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』



「現在の世を表す山」～羽黒山～
(写真:羽黒町観光協会)



「過去の世を表す山」～月山～
「未来の世を表す山」～湯殿山～

「サムライゆかりのシルク」

「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」



復元された北前船



加茂の街並み



松ヶ岡開墾場の蚕室



鶴岡シルク

明治維新後、旧庄内藩士3,000人が刀を鎌にかえ荒野を開拓

課題

人口減少・自家用車依存により、公共交通利用者が減少。バス路線の廃止や減便によりサービスが低下。

⇒公共交通の「負のスパイラル」に陥っている。

方針

官民連携で利用者増加を図ることで公共交通「負のスパイラル」からの脱却を目指す

施策① 庄内交通「市内循環線」の再編を実施

庄内交通(株)と鶴岡市が連携し、地域のニーズ把握。それを基にルートやバス停位置を設定することで、利便性を追求。

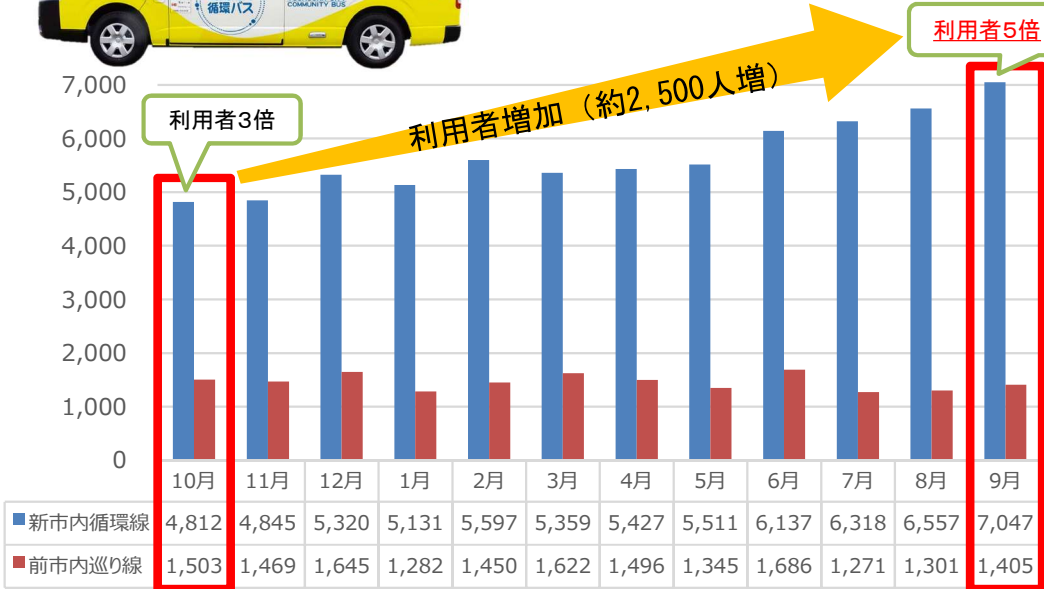
	再編前	再編後
運行便数	12便/日	48便/日
バス停数	58ヶ所	79ヶ所(約300mに1ヶ所)
路線数	2路線4系統	3路線6系統
運行日	月～金曜日	毎日(年末年始除く)
運賃	200～420円	一律300円

病院や商店、
娯楽施設を目的
地として設定。

高齢者のみの
世帯が多い地域
を通過するよう
設定。

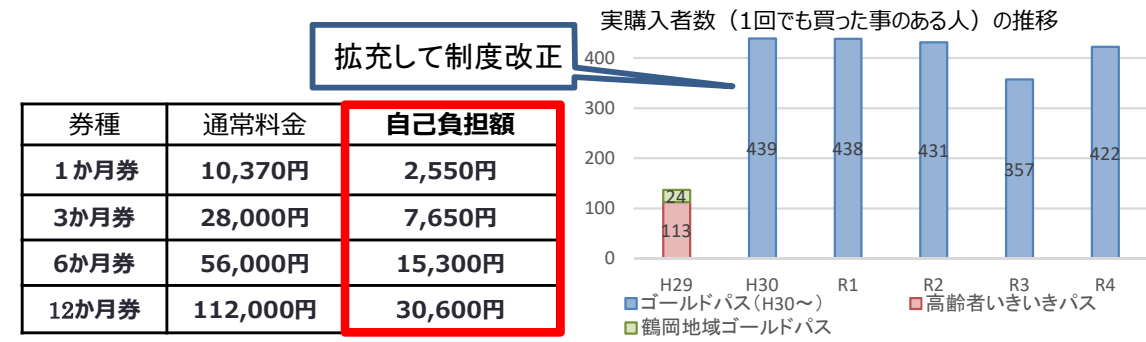


12人乗り車両を導入することで、今まで通過できなかった地域も運行可能に。



施策② 高齢者等外出支援事業を実施

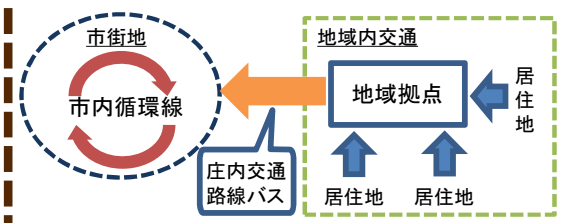
「70歳以上」と「自動車運転免許証自主返納者」の鶴岡市民を対象に、庄内交通(株)の路線バス乗り放題券購入費用の75%を市が補助。



課題 郊外地における民間路線バスの廃線に伴い、地域内交通と市街地への移動手段の確保が必要に。

施策③ 各地域の実態に合わせた地域内交通を導入

住民との協議によりニーズを把握し、地理的条件等を考慮し各地域に合った形の地域内交通を導入。住民との協働により運行。乗継により市街地へのアクセスも可能としている。



- ・地域内の移動や地域拠点までの移動は右記の交通でカバー。
- ・市街地までのアクセス、市街地内の移動は民間路線バスを利用。

地域	地域内交通の形態
藤島地域	東栄デマンド「ふれあい号」 長沼・八栄島デマンド「すまいる号」 【実証運行中 R6.4.1～本格運行開始予定】
羽黒地域	市営バス「ここにこバス」 今野線・上川代線
榎引地域	榎引デマンド「くしびつき」 【実証運行中 R6.11.1～本格運行開始予定】 住民混乗スクールバス
朝日地域	市営バス 大鳥線・田麦俣線
温海地域	乗合タクシー「湯ったり号」 戸沢線・平沢線・関川線